

学習者の視点で 日本語をとらえ直してみよう

一橋大学 国際教育交流センター
太田 陽子



本日の流れ

10:00-10:10 イン트로ダクション (太田)

10:10-10:45 「文法」(8章・9章)を例に (清水)

10:45-11:20 「ことばと社会」(15章)を例に (柳田)

11:20-11:25 休憩 ー質問・コメントをチャットへ!

11:25-11:50 鼎談一事前にいただいた質問をもとに

11:50-12:00 Q&A 本日のまとめ

「日本語学」をめぐって



「日本語学の本を読み始めたけれど、難しくて途中で辞めた」



日本語教育に
興味を持ち始めた
学生

日本語学を“学ば
されている”学生



「“音韻体系”とか、“統語構造”とか、“モダリティ”とか

なんか覚えることが多すぎてキツイ」

「日本語学の知識は、教えるときには役に立たない」



現職の日本語教師

もったいないなあ・・・

「学習者の視点」から日本語を見てみると・・・

学習者とともに
に学んでいく
楽しさ

自分のことばを
客体化して
見直すきっかけ

効果的な
サポート
教材や現場の
工夫に

本書の目的

日本語を「学ぶ対象」
としている人

知識を「覚える」のではなく、「学習者の目」を借りながら、
どうしてだろう、どうなっているのだろうと考えていくプロセス
そのものを体験しよう!

日本語教育に役立つ項目に絞って、
課題を通して日本語について考えるプロセスを体験しつつ、
日本語学を概観する

目次と執筆者

日本語教育の現場と、学部・大学院の日本語学の授業の
両方に携わってきた執筆者8名

みな「日本語学」をなんとか
楽しく、わかりやすく伝えようと
日々、格闘とした経験あり。

第1章	世界の中の日本語	太田陽子
第2・3章	音声・音韻	嵐洋子
第4・5章	文字表記	濱川祐紀代
第6・7章	語彙・意味	森篤嗣 中石ゆうこ
第8～12章	文法	清水由貴子 太田陽子 中石ゆうこ 小口悠紀子
第13章	文章・談話	小口悠紀子
第14・15章	ことばと社会	森篤嗣 柳田直美